



一中だより

令和6年度 第18号 令和7年1月22日(水)

新しい年を充実できるように、始業式で話しました

気持ちも新たな3学期始業式で生徒へ話した内容をお伝えしたいと思います。

おはようございます。そして、あけましておめでとうございます。

年が明けて、令和7年となり、令和6年度3学期が始業しました。

年度の途中ではありますが、暦年が新たになった今、気持ちも一新して「やる気」や「元気」に満ちている人も多いことと思います。今抱いている「やる気」や「元気」などの前向きな気持ち・姿勢を大切にして、今年を充実した1年間にできるように、励んでほしいと思っております。



さて、今年の干支は巳年です。巳とは蛇のことです。蛇というと、『何となく怖い』、爬虫類が苦手な人の中には『気持ち悪い』などといった印象を持っている人もいることと思います。しかし、蛇は脱皮を繰り返して成長することから、新たな自分を見いだすといった『新生』、生まれ変わるといった『再生』などの前向きなイメージもある動物です。

また、蛇はしなやかに曲線を描きながら前へ進みます。その様子から「変化する環境へ柔軟に対応する力」を象徴している動物ともいわれます。

今年1年間を過ごす中で、様々な困難や試練に向き合うこともあると思います。その際に、それら困難や試練を新たな挑戦の機会として捉え、これまで身にまとっていた殻を自ら打ち破る、思い込みなどから脱皮することで成長の第一歩としてほしいと願っております。

まとめの学期である3学期をしっかりと生活を送り「有終の美」を飾れるようにしましょう。そして、事にあたって合理的かつしなやかに対応できる人になれるよう、今年1年間頑張りましょう。

私の思いや願いが先行しすぎた感もやや否めず、生徒たちにとっては堅苦しく押しつけがましいように思えた部分があったかもしれません。しかし、年頭にあたって全生徒の顔を見ながら期待を込めて話したところ、(各自がどのように受け止めたかは計りかねますが)全ての生徒が真顔でしっかりと聞いてくれていました。「さすが、一中生」との思いをあらためて実感させてくれた始業式でした。

本校では、警察等からの助言を受けて、防犯等の観点から授業が行われている時間について特別な事情のない限り基本的には正門を閉めるようにしています。多少ではありますが心理的障壁を高めることで、不審者が校内へ容易に侵入できないよう対応しております。門扉につきましてもは閉めてはいますが施錠はしておりませんので、授業時間に来校された場合は門を開けてお入りいただきたくお願いします。また、用務の時間が短い場合であったとしても門を開けた後は必ずお閉めください。

お手数をおかけいたしますが、よろしく願いいたします。



静粛な環境で、集中して書き初めをしました

1月16日に、書道ボランティアの福田令子先生にご指導いただきながら、1・2年生が新年恒例の書き初めを体育館で行いました。体育館は床張りですので早朝はかなり冷え込みましたが、今年は体育館にエアコンが設置されましたので、フロア全体が温かい中で書き初めを行うことができました。また、昨年までのジェットストーブを使用していた時とは異なり、エアコン使用によって雑音のない静粛な環境で筆を走らせることもできました。

当日は、福田先生から書き初めを上手に行うための心構えや気を付けること等のポイントを最初にご指導いただき、その後、生徒は体育館いっぱいに広がってそれぞれが書き始めました。使い慣れない大きめの筆やめったに書くことがない条幅用紙に悪戦苦闘しながらも、集中して一画一画丁寧に書いていました。その後、書き上がった書き初めのうち最も上手に書けたものを一つ自分で選び、装丁して各教室の廊下に展示しました。

1年生の題字は「不言実行」で、2年生の題字は「新たな目標」でした。いずれも書き初めに相応しい含蓄がんちくのある題字ですので、それぞれの意味をかみしめながら気持ちを込めて書に臨んでくれば、言葉にふさわしい文字に仕上がるだろうなあ…などと思いながら見ていました。

キーボードで文字(活字)を忙しく打つ機会が増えている中であっても、時には気持ちを落ち着かせて毛書を行い、自分なりの文字を書いたり日本の伝統文化に触れたりすることの大切さを感じたひとときでした。



まじめに頑張る生徒たちに感激しました

先日、授業中に校舎内を回っていた際、あるクラスを廊下からガラス越しにのぞくと生徒が黙々と勉強に取り組んでいました。授業担当の先生が隣の教室で班ごとに指導をしている間、その他の生徒たちは個別の課題やプリント類に取り組んでいたようです。生徒たちはどのような学習に取り組んでいるのか興味をもった私がドアを開けて教室に入ると、チラッとこちらを見る生徒は数名いましたが、またすぐに勉強を始めました。誰一人として話をせず、全員が集中して取り組んでいました。その後、しばらく時間を空けてからもう一度ガラス越しに様子を見に行くと、先ほどと全く変わらぬ様子で黙々と勉強をしていました。

廊下から様子をうかがっていた自分の方がかえって恥ずかしくなり、その場から離れましたが、すごい集中力でした。学びに向かう姿勢が学級全体として醸成されており、各自が課題意識をもって学習に取り組んでいたことが嬉しく、それぞれ頑張っている姿に感激しました。

